

登録コード	E7220100	開講年度	2026				
授業科目	スポーツ・体育学入門					担当教員	橋本 政晴 他
英文授業名	Introduction for Sports Science					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限		対象学生
講義室	共通教育 5 4 講義室 共通教育第2 体育館		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				スポーツのもつ社会性について理解力を深める．		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				スポーツ科学の基本的な考え方について理解し，説明ができるようになる．		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	スポーツ科学教育グループの教員によるオムニバス形式の講義を実施し，以下のことを習得する． ・スポーツ科学の基礎的な知識を習得する． ・2年次以降の学習計画をたてるようになる．						
(5)授業計画	第01回：体育の授業を支えるスポーツ運動学の役割（渡辺敏明） 第02回：実践的運動学の展開（渡辺敏明） 第03回：スポーツを科学的に考える（結城匡啓） 第04回：科学的スポーツ実践の展開（結城匡啓） 第05回：野外活動・野外スポーツの今日的動向（瀧直也） 第06回：野外教育の現状と課題（瀧直也） 第07回：体育の授業と教材研究（藤田郁郎） 第08回：子どもたちと体育の授業（藤田郁郎） 第09回：「スポーツとは何か」を問うことの意義（橋本政晴） 第10回：実技／スポーツを楽しむ（橋本政晴） 第11回：健康教育について（友川幸） 第12回：学校保健と公衆衛生（友川幸） 第13回：スポーツ心理学の世界（大木雄太） 第14回：スポーツ心理学の魅力（大木雄太） 定期試験【最終レポート】						
(6)成績評価の方法	毎回の授業で出された課題に対する小レポートの提出を成績評価する． ・得点率による評価基準は次のとおりとする． 90％以上 秀，89-80％ 優，79-70％ 良，69-60％ 可，59％以下 不可．						
(7)成績評価の基準	最終レポートにおいて， 問題の設定が適切である その問題の背景が説明できている その問題にどのような課題があるのかを指摘することができる それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できている その上で自分の意見を提示できている から の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	前回の授業内容の理解を問うグループワークを毎回の授業冒頭に行うため，前週の授業内容を毎回復習してから授業に臨むこと．						
(9)履修上の注意	受講は，保健体育コース及び野外教育コースの学生に限る．						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	主担当の橋本までメール連絡．						
【教科書】	指定なし						
【参考文献】	指定なし						